

公立大学法人宮城大学 業務実績報告書
評定概要
(令和3年度)
【事業年度評価】

令和4年6月
公立大学法人宮城大学

公立大学法人宮城大学 業務実績報告書（令和3年度）【事業年度評価】 評価概要

大項目及び中項目	小項目〔細目番号〕	令和3年度 評価								
		Ⅳ 年度計画を大幅 に上回って実施		Ⅲ 年度計画を予定ど おり実施		Ⅱ 年度計画を十分 に実施せず		Ⅰ 年度計画をほと んど実施せず		計
第1 教育研究の質の向上		4	14.8%	22	81.5%	1	3.7%	0	0.0%	27
1 教育に関する目標	(1) 入学者受入〔1-6〕 (2) 教育の内容等〔7-12〕 (3) 教育の実施体制等〔13-16〕 (4) 学生への支援〔17-21〕	4	19.0%	16	76.2%	1	4.8%	0	0.0%	21
2 研究に関する目標	〔22-24〕	0	0.0%	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3
3 教育研究環境の整備 に関する目標	〔25-27〕	0	0.0%	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3
第2 地域貢献等	1 地域貢献〔28-31〕 2 国際交流〔32-33〕	0	0.0%	5	83.3%	1	16.7%	0	0.0%	6
第3 業務運営の改善及び効率化	1 運営の改善〔34-35〕 2 人事の適正化〔36-37〕 3 事務等の効率化・合理化〔38〕	0	0.0%	5	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	5
第4 財務内容の改善	1 自己収入の確保〔39-40〕 2 経費の抑制〔41〕 3 資産の運用管理の改善〔42〕	0	0.0%	4	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	4
第5 教育及び研究並びに組織及び運 営の状況に係る自己点検・評価並びに 当該状況に係る情報の提供	1 自己点検・評価の充実〔43-44〕 2 情報公開の推進等〔45〕	0	0.0%	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3
第6 その他	1 施設設備の整備・活用等〔46〕 2 安全管理等〔47-48〕 3 人権の尊重〔49〕	0	0.0%	4	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	4
合 計		4	8.2%	43	87.8%	2	4.0%	0	0.0%	49

		No.	主な内容	R3 年度	実績概要	
第1 教育 研究 の 質	(1) 入学者の受入	イ 学士課程	1	アドミッションポリシーに基づく入学選抜試験の実施	III	
			2	高校訪問や入試説明会等の広報活動を通じた出願者の確保	IV	<ul style="list-style-type: none"> オンラインオープンキャンパスにおける配信コンテンツの充実、zoomによるライブオンライン相談会の実施、相談フォームの新設 特設サイト月平均アクセス数：令和2年度3433.5件、令和3年度4539.5件 高等学校への訪問（県内14校、県外11校）、オンライン会議等（県内8校、県外2校）実施 令和4年度入学選抜に対し、全選抜合計で1,780人の出願。入試制度改革を行った平成29年度入学選抜以降、2番目に高い水準 オンラインオープンキャンパス内に生物生産学類に関する特設ページを設定、高頻度の新着情報発信（16件） 食産業学群総出願者数前年比1.3倍 ■ [指標] 本学を第一志望とする入学選抜者の割合（67.9%：目標66%以上）
			3	国の動向や入試IR等を踏まえた入学選抜制度の検討・改善	III	
		4	国の動向や県内高校のニーズ等を踏まえた高大連携事業の展開	III	・大学見学，出前講義，探求型学習指導支援等の臨機応変な対応（対面・オンライン）	
		ロ 大学院課程	5	アドミッションポリシーに基づく入学選抜試験の実施	III	
			6	入学選抜制度の改善及び広報活動を通じた定員充足率の向上	II	<ul style="list-style-type: none"> 入学者の定員充足率 看護69.2%，事業47.8%，食産112.5% ■ [指標] 大学院定員の充足（73.1%：目標100%）
	(2) 教育の内容等	イ 学士課程	7	ディプロマポリシー，カリキュラムポリシー等に基づく教育課程の編成と学修成果の可視化	III	<ul style="list-style-type: none"> R4新教育課程改編に向けた全学DP・CPの整備，学群DP・CPの見直し 数理・データサイエンス・AI科目の充実，導入科目の少人数ゼミ化，アントレプレナー科目の新設 「教学アセスメントプラン」策定
			8	基盤教育と専門教育との連続性を高めた効果的な教育課程の提供	IV	<ul style="list-style-type: none"> 基盤教育と専門教育の接続性，年次と学期の連続性を高めた教育課程の再編成，授業内容の見直し 地域連携実践教育プログラムの再構築，充実化 新たな語学科目（スペイン語Ⅰ・Ⅱ），グローバル教育科目（国際日本学，グローバル・ビジネス，国際関係論）新設 「JICA東北と宮城大学との間の連携覚書」締結，「宮城大学・JICA連携グローバル・プログラム」構築着手 （看護）新カリキュラム内看護マネジメント実習へのIPE組込・実習概要の検討，スキルラボの具体的計画立案 （事業）デジタルファブ리케이션環境強化のための機材・環境整備 （食産）基礎的な実験（食材生産・加工実習Ⅰ・Ⅱ，化学基礎実験）の前倒しによる基盤教育との連携，食産をテーマにした基盤教育科目（食と社会）の新設 授業毎に対面，遠隔の授業実施レベルを設定，課題点等を全体で共有，点検 対面授業実施率100% ■ [指標] 期間中の地域連携型実践教育科目履修者（アソシエイト取得者）総数（41人：目標 年平均35人） ■ [指標] 地域連携型実践教育科目履修者の自己評価（84点：目標75点以上）
			9	学生一人一人の個性を伸ばすための実践的な教育プログラムの展開	IV	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会の動向を学ぶ科目（国際関係論），科学技術，情報通信技術の動向を学ぶための科目（コンピューターリテラシー，情報化社会と技術），アントレプレナーシップ科目（アントレプレナー基礎）新設 CPFW演習充実化に向けた検討実施 大学院でCP科目を開講，大学院に進学したCPアソシエイト取得者1名受講 「アントレプレナーシップ基礎」「イノベーションデザイン特別演習」立ち上げ デザイン研究棟にMYU-DSC立ち上げ，整備 イノベーションデザインのための継続的なプラットフォーム・メディアの構築，VRを活用した表現方法の開発 南部鉄器「タヤマスタジオ(株)」との連携によるVR教材を使用した授業の実施，VR教育の効果検証 食産卒業研究におけるPBLの実践，1年次科目「食材生産概論」「フードマネジメント概論」新設，SUS中に「基礎ゼミ」新設
		ロ 大学院課程	10	ディプロマポリシー，カリキュラムポリシーに基づく教育課程の編成	III	・学位論文審査基準の公表，学位論文審査報告書の全学統一化検討
			11	教育内容の改善及び学修成果の可視化	III	
			12	将来を見据えた魅力ある大学院教育の再構築	III	・社会人学生に対応した，遠隔講義・対面講義の組み合わせによる効果的な科目実施

			No.	主な内容	R3 年度	実績概要	
第1 教育 研究 の 質	1 教育	イ 教育研究組織	13	教育研究組織の整備	Ⅲ	・登校相談専門窓口「コロナウイルス登校相談チーム」設置	
			ロ 教員・教員組織	14	教員組織編成方針等に基づく教員の適切な配置	Ⅲ	
				15	教員評価制度等による教員の適切な評価と質の向上	Ⅲ	
				16	ファカルティ・ディベロップメント等を通じた教員の自己研鑽と教育の質の向上	Ⅲ	
		イ 学修・生活支援		17	学生支援方針等に基づく学生への支援	Ⅳ	・新型コロナウイルス感染症対策として、社会的距離を保って着席できる教室の座席整備、登校時、時間間、昼食時等の職員見回りによる注意喚起（マスクの着用、対人距離の確保、手指・使用場所の消毒等）、不安やストレスを抱える学生の把握・面談等の実施 ・感染症防止注意喚起、各キャンパスの感染対策周知 ・チャットボットの導入による出席停止手続きの明確化 ・動画「新型コロナウイルス感染症の拡大予防について」放映 ・学生、教員有志の“こびっと隊”による感染防止活動の実施
			18	多様な学生への適切な支援	Ⅲ		
			19	経済的に問題を抱える学生への対応	Ⅲ	・授業料減免申請の電子化	
			ロ キャリア形成支援	20	学生による主体的なキャリア形成及び就職活動の支援	Ⅲ	
	21	インターンシップの充実等を通じた学生の社会人基礎力の向上		Ⅲ	■ [指標] 卒業生就職率（97.9%：目標100%） ■ [指標] 看護師国家試験新卒合格率（98.9%：目標100%） ■ [指標] 保健師国家試験新卒合格率（92.7%：目標100%）		
	2 研究	22		研究方針等に基づく戦略的な研究活動の推進	Ⅲ	・宮城大学研究・共創フォーラム開催	
		23	研究力の強化による社会的評価の向上	Ⅲ	■ [指標] 教員一人あたりの研究成果発表件数（2.1件：目標1件）		
		24	外部資金獲得による研究推進及び企業や外部機関等との連携の推進	Ⅲ	・研究推進・地域未来共創センター設置、地域連携業務と研究支援業務の一元化 ・東北テクノアーチとの技術移転基本契約締結 ・「ビジネスマッチ東北2022春」出展 ■ [指標] 外部資金獲得総額（175,699千円：目標179,350千円）		
	3 教育研究環境の整備		25	教育研究環境等の整備・運用	Ⅲ	・厳格な入退館管理、日々の消毒作業の徹底、庁舎管理の拡充（警備員配置、清掃業務拡充）、必要機材（サーマルカメラ、サーキュレーター等）の調達等新型コロナウイルスに配慮した教育環境の整備	
			26	図書館及び学術情報と関連サービス、プログラムの提供	Ⅲ	・R4年度出版会立ち上げに向けた運営方針・規程整備 ・研究ジャーナル第1巻2号発行。半年間で閲覧数1,016件、DL数1,652件	
			27	研究費の適切な配分	Ⅲ	・全教員への基礎的研究費一律配分による研究力の底上げ	
	第2 地域 貢献 等	1 地域貢献		28	本学が有する知的資源の地域への還元	Ⅲ	・看護学群教員による、新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養支援、ワクチン接種対応、保健所等支援、感染対策特任講師の活動支援実施 ■ [指標] 公開講座等への延べ参加者数（7,787人（38回）：目標1,600人）
				29	自治体・企業・医療機関等との連携による受託事業、受託・共同研究等の推進	Ⅲ	・宮城県議会とのシンポジウム実施、泉パークタウンでの地域活動参加 ・国立研究開発法人水産研究・教育機構と包括連携協定締結、三菱地所株式会社と連携協定締結 ■ [指標] 市町村等の各種委員・講師の派遣件数（414件：目標300件） ■ [指標] 市町村や企業等との連携事業・受託事業数（20事業：目標12件）
				30	東日本大震災からの復興支援	Ⅲ	・富谷宿観光交流ステーション内に「宮城大学共創ラボ」設置 ・「カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」に参画
				31	地域の災害レジリエンス強化に向けた支援	Ⅲ	
		2 国際交流		32	国際交流方針等に基づく連携先の開拓や交流環境の整備	Ⅲ	
				33	多様な交流プログラムを通じた学生の国際的視野の涵養	Ⅱ	■ [指標] 海外派遣学生枠（52人（参加者13人）：目標200人/R8）

	No.	主な内容	R3 年度	実績概要	
第3 業務 運営 の 改善	1 運営の改善	34 適切な大学運営のための組織整備、国や他大学の動向等を踏まえた経営の効率化	Ⅲ	・「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」の開催、適時的確な対応	
		35 中期計画と連動した戦略的な予算配分	Ⅲ		
	2 人事の適正化	36 人事異動方針等に基づく事務職員の適正な配置	Ⅲ		
		37 教育研究支援体制の充実・強化と人材の育成	Ⅲ		
	3 事務等の効率化・合理化	38 業務執行等の効率化・合理化	Ⅲ	・人事・給与関係事務、庶務関係事務効率化・合理化のためのシステム構築実施	
	第4 財務	1 自己収入の確保	39 学納金等の安定的な確保	Ⅲ	
40 その他自己収入の確保			Ⅲ		
2 経費の抑制		41 業務効率の向上と経費抑制	Ⅲ	・人事給与システム構築、財務システム更新 ・大規模修繕関連業務支援の外部委託による業務の合理化	
3 資産の運用管理の改善		42 施設・設備等の適切な維持管理	Ⅲ		
第5 評価		1 自己点検・評価の充実	43 認証評価の評価基準等も見据えた自己点検・評価の実施と公表	Ⅲ	
			44 内部質保証システムに基づく各PDCAサイクルの実施と定着化	Ⅲ	・グローバル人材の育成、アントレプレナー教育の充実等第3期中期目標期間における課題の明確化
2 情報公開の推進等	45 広報基本方針等に基づく全学広報の推進	Ⅲ	・「宮城大学広報ツールのトータルデザイン」2021年度グッドデザイン賞受賞		
第6 その他	1 施設整備の整備・活用等	46 施設設備の整備・活用等	Ⅲ		
	2 安全管理等	47 安全で衛生的な労働環境の確保	Ⅲ		
		48 情報セキュリティを含む安全安心な教育研究環境の整備	Ⅲ	■ [指標] 個人情報漏洩事故件数（0件：目標0件）	
	3 人権の尊重	49 人権侵害の防止に向けた体制整備と取組強化	Ⅲ	・各学群、基盤教育群、各研究科に相談員を配置	